

第2回 マリンFM 番組審議会

株式会社横浜マリンエフエム「第2回番組審議会」の議事録

1. 開催年月日 令和2年3月8日（月）17:00～18:00
2. 開催場所 株式会社横浜マリンエフエム（横浜市中区本牧1-9）
3. 委員総数（6名）
出席委員数（3名）

- ・間野 義之 委員長
- ・神山 篤 委員
- ・石田 良男 委員

放送事業者側出席者（3名）

- ・代表取締役 笹原 延介
- ・取締役 田畑 三津広
- ・マリンFM スタッフ 島木好子

4. 議題
 - ・番組に対する意見交換
 - ・番組編成について
 - ・その他 意見交換

5. 審議内容

- ・番組に対する意見交換

（局側）

台風発生時に、避難勧告や避難所の開設情報を日本語・英語・中国語で放送した。その他、不足している情報については行政と電話で繋ぎ放送し、台風通過後も翌朝倒木による注意喚起を放送するなど、防災に強い放送局として役割を果たせた。

地域情報をメインに放送している番組「ごきげんラジオ」の一部を審議会の中で委員に聴いていただき審議していただいた。

ゲストコーナーでは横浜市中消防署長をお呼びして放送している。

お母さん目線で番組を構成し30～40才代をターゲットにした番組を作っている。

（委員）

音楽、文学、芸術、表彰、成績などで、地元の方の固有名詞（人の名前）が出てくるものがあったとしても良い。名前を呼ばれると嬉しいし放送されることが分かると関心を持ち、一度定着するとリスナーが定着する。週末に行われることが多いため月曜日に入れるなど。

中区の小学校・中学校の統括校長に相談して、中区内にあった小学生・中学生で行われた顕彰、表彰、情報を寄せてもらう。校長も自校の生徒の名前が聴けると嬉しいことである。

親だけでなく、親の友人など口コミで広がっていくこともある。

現在まだマリンFMの認知が低いが、知ると一気に広がることもある。

- ・番組編成について

(局側)

「つながる地域の放送局」を念頭において、人と人、人と学校、人と病院など、繋がりがなければ伝わらないことをコンセプトにおいて立ち上げた放送局であるため、戴いたご意見を取り入れながら、地域の人が参加し皆さんに聴いていただける番組に今後も変えていきたいと思う。

(委員)

中区にはプロスポーツチームが多数あるので、スポーツに関する番組があると良いのでは。(選手に出演していただく等)

(委員)

見取り図のようなものがあると良い。

「くらしと季節の行事」の番組は、たまたま聴いて面白い番組があることを知ったり、このあと続いて落語番組が入っていることを知ったり、三溪園コーナーなど、いっどんな番組をやっているのか知らずに聞いているところがある為、見取り図のようなものがあるととても分かりやすい。

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。

本審議会の全てを終了。神山委員が閉会を宣言した。